

◆キューバはサンチャゴ・デ・クーバまで横断し見所を網羅！その後、ジャマイカ2泊、ドミニカ2泊と一筆書きの効率的な日程◆

キューバ、ジャマイカとドミニカ共和国 12日間

出発日	旅行代金
1月16日(金)	998,000円
一人部屋利用追加料金	124,000円

○添乗員：成田空港より全行程同行致します。
○利用予定航空会社：アエロメヒコ航空。
○ホテル：スタンダード〜ファーストクラスの厳選ホテル。詳しくは、お問い合わせ下さい。
○食事：朝食9回、昼食9回、夕食9回（機内食除く）
○海外空港諸税：旅行代金に含まれます。
○最少催行人員：10名（最大20名）

◆旅行代金以外に下記費用を別途申し受けます◆

○成田空港使用料・保安サービス料 3,160円
○国際観光旅客税：1,000円
○燃油サーチャージ目安：23,200円（2025年6月現在）
○査証（キューバE-VISA）代：2,820円
○査証取得代行手数料：4,400円（税込）
○旅券余白：5頁以上。
○旅券残存期間：ドミニカ入国時6カ月以上要

◆コースのポイント◆

カリブ海最大の島国・キューバ、キューバに次いで2番目に大きなイスパニョーラ島の東側・ドミニカ共和国、標高2,256mの山も有するレゲエの島国ジャマイカ。個性的なカリブの島国・3カ国それぞれをじっくりと巡ります。

◇**ドミニカ共和国**：カリブ海でキューバに次いで2番目に大きなイスパニョーラ島の東側三分の二を占める国。新大陸で最初にヨーロッパ人が定住した土地であり、その後のスペインの侵略拠点でありました。スペインなど列強の植民地、及び隣国ハイチの支配を経て、1844年に独立。首都はサント・ドミンゴ。公用語はスペイン語。



コロムブス広場のコロムブスの像 / サント・ドミンゴ

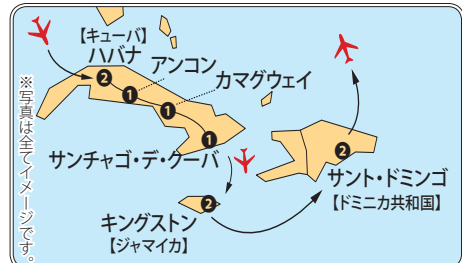


ファロ・ア・コロム（コロムブス記念灯台） 内部のコロムブスの墓

◇**キューバ共和国**：西インド諸島最大の島。コロムブス到達以来、スペイン領に。植民地支配の砂糖とタバコのプランテーション経営のため黒人奴隷が導入される。19世紀末に独立運動が活発化するとアメリカが介入、1902年に独立を達成しましたが事実上のアメリカによる支配が続きました。1959年、親米バチスタ政権がカストロの指導する革命で倒され、社会主義国となりました。首都はハバナ。公用語はスペイン語。



トリニダー ハバナの街角にて



※写真はいずれもイメージです。

	都市名	スケジュール
1	東京 ハバナ	■午前、成田空港より、空路、メキシコシティ乗り継ぎ、キューバの首都ハバナへ。 ■夕刻、ハバナ着後、ホテルへ。 〈ハバナ泊〉 日 団 機
2	ハバナ滞在	■終日、ハバナ市内及び郊外の観光。世界遺産ハバナ旧市街では、モロ要塞○、チェ・ゲバラの邸宅○、カテドラル○、革命博物館○、旧国会議事堂（カピトリオ）○、ヘミングウェイが通ったバー・フロリディータ○、アルマス広場○など。また、郊外のヘミングウェイが住んでいた家（博物館○）も訪れます。その後、ハバナ新市街の観光。革命広場○、チェ・ゲバラが描かれた内務省ビル○など。 ★キューバ名物クラシックカーの乗車体験（数台に分乗・約30分）もお楽しみ下さい。 ◇夜、ご希望の方は、実費にてキャバレー「トロピカーナ」にご案内します。（雨天の場合は中止になります） 〈ハバナ泊〉 日 団 機
3	ハバナ（サンタクララ）（シエンフェゴス） アンコン	■午前、チェ・ゲバラ眠る町サンタクララへ。着後、ゲバラの遺骨が納められているチェ・ゲバラ記念霊廟○、装甲列車襲撃記念碑○にご案内します。 ■午後、フランス人によって築かれた世界遺産の町シエンフェゴスにて大聖堂○、ホセ・マルティ広場○にご案内します。観光後、アンコンへ。 〈アンコンまたは代替都市※泊〉 日 団 機
4	アンコン（トリニダー）（ロス・インヘニオス溪谷） カマグウェイ	■午前、世界遺産トリニダーの観光。マヨール広場○、サンティシマ教会○など。また、バー「ラ・カンチャンチャラ」にて、名物カクテル・カンチャンチャラをご賞味下さい。その後、砂糖製造の中心地として栄えたロス・インヘニオス溪谷（世界遺産）を訪問。サトウキビ農園の見張りを兼ねたイスナーガの塔○に立ち寄ります。 ■午後、スペイン統治時代、西インド諸島の中心地であった世界遺産カマグエイへ。着後、カマグエイの観光。美しい旧市街をビシ・タクシー（自転車タクシー）にてご案内します。 〈カマグウェイ泊〉 日 団 機
5	カマグウェイ（バヤモ） （コブレ） サンチャゴ・デ・クーバ	■午前、キューバ独立戦争の父セスペデスの生誕地バヤモへ。着後、バヤモの観光。セスペデスの家○、国家広場○など。また、カサ・デ・ラ・トロヴァ（キューバ音楽の家）にて、キューバ音楽（ソン）の演奏もお楽しみ下さい。 ■午後、スペイン統治下時代の首都であり、キューバ革命の舞台でもあったサンチャゴ・デ・クーバへ。途中、キューバで一番神聖な場所といわれるコブレ教会○に立ち寄ります。 〈サンチャゴ・デ・クーバ泊〉 日 団 機
6	サンチャゴ・デ・クーバ キングストン	■午前、サンチャゴ・デ・クーバ市内及び郊外の観光。革命戦争の発火点となったモンカダ兵営博物館○、カストロが革命の勝利宣言したセスペデス広場○、フィデル・カストロが埋葬されるサンタ・イフィゲニア墓地○、モロ要塞○など。 ■夕刻、空路、ジャマイカのキングストンへ。 〈キングストン泊〉 日 団 機
7	キングストン 滞在 （UCC コーヒー農園） ジャマイカ	■終日、キングストン市内及び郊外の観光。ジャマイカ国宝建築物のひとつデヴォン・ハウス○、ボブ・マーリー博物館○などにご案内します。また、スペイン統治時代の古い町並みが残るスパニッシュ・タウン△や最高級のブルー・マウンテン・コーヒーを栽培するUCC コーヒー農園○の見学にもご案内します。 〈キングストン泊〉 日 団 機
8	キングストン サント・ドミンゴ	■午前、空路、カリブ内都市乗り継ぎ、ドミニカ共和国の首都サント・ドミンゴへ。 ■午後、サント・ドミンゴ郊外の観光。コロムブスが眠るフォロ・ア・コロム（コロムブス記念灯台）○、地底湖のあるロス・トレス・オホス公園○にご案内します。 〈サント・ドミンゴ泊〉 日 団 機
9	サント・ドミンゴ 滞在 ドミニカ	■午前、サント・ドミンゴの観光。コロムブスの子孫が住んでいた歴史的建造物アルカサル○、歴代総督の霊廟・パンテオン○、オサマ岩○、旧市街の散策などにご案内します。 ★昼食は、ドミニカを代表するダンス・メレンゲショーをご覧いただきながら、お召し上がりいただきます。 ■午後、早めにホテルへ。 〈サント・ドミンゴ泊〉 日 団 機
10	サント・ドミンゴ	■午前、空路、メキシコシティ乗り継ぎ、帰国の途へ。 〈機中泊〉 日 団 機
11		■日付変更線通過。
12	東京	■朝、成田空港着。入国、通関後、解散。

※第3日目の代替都市は、トリニダー、シエンフェゴス、サンクト・スピリトゥスなどです。
※博物館など、入場観光が急速不可となる場合もあります。その場合、代替観光にご案内します。
※キューバ入国に際し、海外旅行保険加入が義務付けられています。英語表記の保険契約証明書をご持参下さい。
※キューバ国内へのイヤホンガイドの持ち込みが禁止されているため、当コースではイヤホンガイド・サービスのご用意はございません。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。
※キューバ訪問後にアメリカに渡航（乗り継ぎも含む）する場合、ESTA（電子渡航認証システム）の利用は出来ません。米国査証（ビザ）の取得が必要となります。予めお含みおき下さいますよう、お願いいたします。

◇**ジャマイカ**：キューバの南に位置する秋田県ほどの小さな島国。スペインの統治の後、300年に渡り英国の領土でした。1962年英国より独立。首都はキングストン。公用語は英語。レゲエ・ミュージックはジャマイカが発祥で、レゲエの神様ボブ・マーリーのグッズや肖像は町中いたる所で見られます。山がちな国土のため、コーヒー栽培も有名で、ジャマイカ産の高級品種ブルー・マウンテンの輸出先の80%は日本です。



国宝建造物のひとつデヴォン・ハウス



キングストンの街角



昼食時、夕食時にミネラル・ウォーターをサービスします。

より快適な、価値ある旅のご案内

●国内線の乗り継ぎについて

◇大阪、名古屋、福岡、札幌などからの国内線でご出発の場合、追加料金にて手配を承ります（一部コースを除く）。料金につきましてはお問い合わせ下さい。（別途、お席の確保が必要となります。）

◇国内線をご利用の場合、国内線の遅延や、乗り継ぎ不可能な時、座席を確保できない、他の交通機関を利用した時、羽田経由の場合の成田空港までの交通費、宿泊が必要となる時の費用等、ご出発とご帰国時の国内における諸費用はお客様の負担となります。

●航空機及び移動について

◇利用航空会社は、日本発着便を原則として表示しており、乗り継ぎを必要とする時の航空便や、旅行地で空路移動する場合の航空便は、他の航空会社となることもあります。◇航空便の座席（隣合わせ、窓側、通路側等）については、ご希望に添えない場合もございます。又、座席の混み具合等によりご同伴の方でも隣り合わせのお席にならないこともございます。

◇僻地や列車等での移動でポーターがいない場所では、お客様にご協力いただきご自身の荷物を運ばいただくこともございます。

●利用航空機について（日本発着便）

◇エアロメヒコ航空、エアカナダ、デルタ航空、アメリカン航空、ユナイテッド航空、全日空、日本航空、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、シンガポール航空、フランス航空、KLM オランダ航空、ITA エアウェイズ、ルフトハンザ・ドイツ航空、ブリティッシュ・エアウェイズ、スイス・インターナショナル・エアラインズ、

●日程中のマークの読み方

☉：朝食、☒：昼食、☑：夕食、☒：機内食、☐：食事なし、○：入場観光、○：下車観光、△：車窓観光

●時間帯のめやす

04:00	06:00	08:00	12:00	13:00	17:00	19:00	23:00
深夜	早朝	朝	午前	昼	午後	夕刻	夜

●ご宿泊について

◇お一人で参加され相部屋を希望し、お相手の方が見つからなかった場合は、**一人部屋利用追加代金の半額にて、一人部屋をご利用いただけます。**但し、ご出発日の60日前までにお申込金のお手続きを完了されたお客様に限りです。尚、相部屋の方の、禁煙・喫煙、同年代などの希望には添えません。また、お申込後「相部屋⇒一人部屋」へ希望を変更することは原則不可となります。

●個人情報の取り扱いについて

◇弊社は旅行申込の際にご提出頂いたお申込書に記載された個人の情報にしましては、お客様と弊社との連絡に利用させて頂く他、当該旅行の実施に関わる関係諸機関へ必要範囲内で提供いたします。また、弊社の旅行商品の開発、ご案内などで利用させて頂く場合もございます。

●海外渡航関連情報について

◇訪問国によっては、外務省より「海外危険情報」など、渡航に関する情報が出されています。それら情報に関しては以下でご確認下さい。
■外務省海外安全ホームページ <http://www.anzen.mofa.go.jp/>
■厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

◇ご協力をお願い◇

団体旅行は、楽しい旅をしていただくためにお客様同士の心配りが大切です。バス移動の際の前方座席の連日の独占は避け、カメラ・ビデオの撮影マナー、喫煙マナー、食事マナーなどに気を配り、お互いに譲り合い、公序良俗を守り、気持ちよく旅ができるよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

●確定した航空会社の便名、ホテル名等は、ご出発日の前日迄にお渡しする確定書面でお知らせ致します。尚、お問い合わせ頂ければ手配状況についていつでもご説明申し上げます。

昼食時、夕食時にドリンク・ウォーターをサービス

場所によってはガス入りとなる場合もございます。

便利なイヤホン・ガイドサービスを使用

添乗員、ガイドから離れていても説明が聞けるイヤホン・サービスをご利用いただけます。カメラ・ビデオを撮影しながら自由に動けることで大変好評いただいております。

※キューバを訪れるコースは除きます。

ご旅行条件（要旨） ご旅行代金の内訳、お取消料などについて、旅行条件を十分にお読み下さい。

この旅行は株式会社旅のデザインルーム（以下当社）が企画・募集し実施する企画旅行であり、参加されるお客様は当社と企画旅行契約を締結することになります。当社は旅行日程に従ってお客様が運送・宿泊機関等の旅行に関するサービス（以下旅行サービス）の提供を受けることができるように、手配することを引き受けます。この書面は、旅行業法第12条の4に定める取引条件説明書及び同法12条の5に定める契約書面の一部になります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行条件書（全文）、ご出発前にお渡しする最終日程表（確定書面）によります。お申込の際は、旅行条件書（全文）をお受け取りの上、必ずご確認下さいますようお願い申し上げます。

●旅行代金に含まれるもの

◇旅行日程に明示した運輸機関の運賃、食料料金、観光料金（バス料金・ガイド料金・入場料）、宿泊料金二名一室を基準）及び税・サービス料、海外空港諸税、スーツケース一個の運搬料金、団体行動中のチップ、添乗員付コースはその同行諸費用。以上の費用は、お客様の都合により、一部利用されなくても原則として払い戻しはいたしません。

●旅行代金に含まれない物

◇上記の他は旅行代金に含まれません。その一部を例示いたします。超過手荷物料金、一人部屋を利用される場合の追加料金、希望者のみ参加されるオプション・ツアーの料金、渡航手続関係諸費用（旅券印紙代、手続代り料金など）、日本国内の空港施設使用料・保安サービス料、国際観光旅客税、燃油サーチャージ、国内におけるご自宅からツアー集合及び解散空港間の交通費、宿泊費、クリーニング代・電報電話料金・ホテルのボーイやメイドへのチップ、日程明示外及び別途追加の飲食費、他一切の個人的性質の諸費用。

●お申し込みに際して

◇旅行中に特別な手配を必要とする方は、お申込みの時にその旨お申し出下さい。旅行の内容によっては、お伺い書や健康診断書等をご提出いただく場合がございます。又、コースによっては、ご参加いただけないこともございます。◇他のお客様に迷惑を及ぼすおそれがある当社が判断する方のお申込みはお断りすることもございます。

●旅行代金のお支払い

◇旅行代金は、出発日の21日前までにお支払い頂きます。
●取消料

旅行解除期日	旅行代金	取消料（お一人）
ピーク時の旅行（41日前までは不要） ●40日前から31日前までの取消し		旅行代金の10% （限度額5万円）
その他の期間の旅行（31日前迄不要） ●30日前から21日前迄の取消し	30万円以上 15万円以上 30万円未満 15万円未満	50,000円 30,000円 20,000円
以下は全ての旅行に適用 ●20日前から3日前までの取消し		旅行代金の20%
●前々日から当日		旅行代金の50%
●無連絡不参加及び旅行開始後		旅行代金の100%

●「ピーク時」とは 12/20～1/7、4/27～5/6 及び 7/20～8/31 をいいます。

●取消料の対象なるお支払い対象旅行代金とは、旅行代金と追加代金（一人部屋利用追加代金・航空機の等級変更による差額など）の合計額です。

●相部屋の方のお取り消しに伴う一人部屋追加代金について

◇相部屋のお相手の方（配偶者・友人も含む）がお取消された場合、結果的に一人でお部屋を利用することになる方は、**一人部屋利用追加代金のお支払いが必要となります。**尚、その後相部屋希望者の参加があった場合は必要ありません。

●旅行条件・旅行代金の基準

◇この旅行条件は2025年5月30日を基準としております。また旅行代金は2025年5月30日現在有効な航空運賃・適用規則に基づいて算出しています。尚、旅行代金の変更について定めた当社約款第13条第1項から第4項の適用に関し、幅運賃制であるIIT運賃（個人包括旅行運賃）を適用した旅行は、幅の範囲内での航空運賃の増額又は減額があっても当該旅行の代金の変更は致しません。詳細については、当社の旅行業約款をご覧ください。又、当社にはいかなる場合でも旅行の再実施は致しません。

●旅程保証

◇旅行日程に重要な変更が行われた場合は、旅行業約款の規定により、その変更の内容により変更補償金をお支払い致します。

●旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引の責任者です。担当者からの説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく、下記旅行業務取扱管理者にご質問下さい。

マラリアについて ※中南米は、マラリアの発生地域と云われております。黄熱病と異なり出入国の条件にはなっていないませんが、旅行中は予防に努めましょう。

【マラリアとは】

ハマダラ蚊による吸血により人に感染する感染症です。ハマダラ蚊は、夕方から夜にかけて飛び始めます。マラリア危険地域では夕方以降の外出はなるべく避けましょう。

【マラリアの症状】

高熱、震え、咳、下痢、関節痛、頭痛、吐き気、全身の痙攣、昏睡など。放置すると死に至る可能性もあります。

【マラリアの潜伏期間】

マラリアは感染してから1週間から4週間で発病することが多いといわれています。

【マラリアの治療】

マラリアの治療で最も大切なのは早期発見、早期治療です。早期にきちんと治療すれば大抵のマラリアは数日のうちに回復します。熱帯や亜熱帯への旅行後や旅行中に高熱がでたら直ぐに医療機関を受診することが大切です。

【マラリアの予防法】

マラリアに対してはまだまだ有効な予防接種がありません。一方、抗マラリア薬を服用することで予防可能ですが、抗マラリア薬の効かない耐性マラリアや副作用の問題があります。厚労省は予防的服用をはっきりと推奨しておらず、個人的な意思に任せるとしてあります。最も効果的な予防法は蚊に刺されないことです。夕方以降に外出する場合は、長袖長ズボン、虫除けスプレーを塗布しましょう。また、就寝時には蚊取り線香やベープを炊くことによいでしょう。

【最新情報】

厚生労働省海外衛生関連情報 <http://www.forth.go.jp/>

★高山病について、必ずお読み下さい／ペルー、ボリビアを訪れるツアー★

★高山病とは、低酸素状態に置かれたときに発生する症候群のことです。高山では空気が地上と比べて薄いため、概ね2,500m以上の高所において酸欠状態に陥った場合に、さまざまな症状が現れます。主な症状は、頭痛、吐き、めまい。こうした低酸素状態に対応しようとする体の変化は、誰にでも起こるものです。高山病の発症の具合は人それぞれで、年齢、高所の経験などに関係なく発症します。ですからどのぐらいの高さで起こるのか、どのぐらいの体力があればかかりにくいかなどはいえません。しかし突然発病して倒れるといった病気ではなく、必ずその前に兆候が現れます。その兆候を警告として捉えることができるかどうかが重要です。また、**一般的に高血圧、心臓病の方は高山病になり易いと言われており、既往症のある方、少しでもご心配な方は、当日程表を医師にお見せいただき、ご相談の上、ご判断下さいませようお願い申し上げます。**※高地へのご旅行にご参加の方は必ず、**疾病死亡・治療、救護者費用を含む海外旅行保険へのご加入をお願いしております。**

★高山病対策として

- 1) 体を高所に慣らすことが必要です。これを高所順応といいます。これを無視して高度を上げると症状が悪化する場合があります。旅のデザインルームの各コースでは、お客様に無理なく高所順応していただけるよう工夫して日程を組んでいます。
- 2) 添乗員が**パルスオキシメーター（血中酸素飽和度測定装置）**を持参し、必要に応じて客観的にお客様の高度順応状態を把握します。
- 3) 毎日水分はたくさん摂りましょう。高所では脱水が起こりやすく、渇きの感覚も鈍化します。平地では、普通の人は毎日約2リットルの水分を必要とします。高所では1日の水分必要量は4リットルを超えるといわれています。
- 4) 暖かくして快適な睡眠をとりましょう。激しい運動や過度な飲酒・喫煙は控えた方が良いでしょう。
- 5) 予防薬「ダイアモックス」は有効であるという日本旅行医学会の報告があります。但し「ダイアモックス」には副作用として口唇、手足のしびれが出ることもあり、医師の処方が必要です。